

安心感地域 No.1を目指します!!



3 2026  
March

Vol. 336

JAIはくい

# かけはし



HP



instagram



LINE

JAはくい押水花木部会による「能登押水花木」を使用した 生け花

— 良質な米づくりに向けて —

# 令和7年度 営農座談会を開催

JAはくいは2月4日、本店と宝達支店の2会場で「営農座談会」を開催し、計90人が参加しました。令和7年度産の米づくりを振り返り、次年度に向けた対策を説明しました。また、JAの自己改革実践サイクルについての取り組み状況も報告しました。



羽咋地区を対象に開かれた営農座談会 (JAはくい本店)

## 生育概況について

育苗期間を通して気温は高く、降水量は少なく経過したため、ムレ苗等の病害の発生は少なく、生育は順調、苗の活着も良好でした。

田植え後気温は高く推移し、初期分げつが促進されました。幼穂形成期と出穂期は、6月～7月の気温が平年よりかなり高く推移したことより伸長が早まりました。

登熟期では、平均気温が平年より高く、品質低下が懸念される高温登熟期となりましたが、日照時間が多く、登熟は順調に進みました。9月の断続的な降雨により、刈取作業に一部遅れが生じました。

## 品質概況について

令和7年度産米の1等米比率は91・3%で前年の88・8%から高くなりました。品質低下の主な要因は前年と同様の

斑点米で、その割合は4・6%に達し、平成23年以降で5番目に高い数値となります。

## 斑点米

暖冬により越冬カメムシが増加し、除草不足が繁殖を促しています。圃場の雑草がカメムシを引き寄せ、大型飛翔性カメムシの増加で被害期間が延長しています。さらに、防除の未実施(特に3回目)や遅れが被害を深刻化させています。

## 【対策】

- ・ 品種の団地化
- ・ 畦畔、農道、本田の除草の徹底
- ・ 適期に3回防除の実施

## 乳白粒

乳白粒の発生要因には、ガス沸きや藻による初期生育不良、中干し不足による遅発分げつ増加、倒伏による登熟不良が含まれます。また、出穂後の高温や日照不足、登熟期の水管理不足も影響します。

## 【対策】

- ・ 水管理で強い稲体づくり
- ・ 移植後1週間は深水で管理

し、その後は晴天時に浅水管理で分げつを促進、低温時には深水で苗を保護します。軽い田干しを2回行ってガス沸きを軽減し、根張りを向上させます。中干しは茎数が14～16本(移植後約1ヶ月)に達したら開始し、秋まで残る溝切りを実施して、1日通水と3日落水を繰り返します。

## 収量について

ゆめみづほ・ひやくまん穀は、移植後気温が高く推移したことで初期分げつの発生が促進され、穂数および籾数は目標を確保できました。

登熟期間の日照時間が多く、登熟歩合は概ね目標並みで、収量はゆめみづほが平年並み、ひやくまん穀で平年を上回りました。

コシヒカリは、移植直後のガス沸き・藻の多発により初期分げつの発生が緩慢となり、穂数および籾数は平年より少なく、収量は平年を下回りました。

## 【対策】

- ・ こまめなハウス温度管理と適量灌水による健苗育成
- ・ 浅水管理による初期分げつの確保

・ 稲刈り後1か月以内に秋起こしを実施(稲わらの腐熟促進)

「トキとの共生」に向けた取り組みの推進について

これまでの能登米運動が高く評価され、今年、羽咋市南潟地区(巨知潟周辺)で本州初となるトキ放鳥が5月31日に決定しました。

トキの定着・共生を目指した米づくりは、JAはくい管内の地域農業を守り、ブランド化を進展させる大切な取り組みと捉え、これまでの能登米運動を軸に「トキとの共生に向けた米づくり」を推進してまいります。

みなさまには、取り組みに対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## JA自己改革の報告

JA自己改革の一環として、水田フル活用による2年3作体系の拡大や専任TACによる担い手農家訪問の実績が報告されました。



◆営農座談会当日の資料(詳細)は、JA営農センターにご用意しております。

# J A 自己改革 について

標記改革における令和7年度上期の取り組み状況について、先月に続いて2回にわたってお伝えしています。

## 自己改革工程表兼第8次中期計画書(一部抜粋)【数値編】

### 2. 農業資金の供給

|      |                | 令和7年度  |        |        | 令和8年度  | 令和9年度  |
|------|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|      |                | 目標     | 上期実績   | 年度末見込み | 目標     | 目標     |
| 取組内容 | 農業関連資金の新規取扱の拡大 | 210百万円 | 179百万円 | 292百万円 | 220百万円 | 220百万円 |

### 3. 経営基盤の強化

|      |  | 令和7年度    |       |        | 令和8年度 | 令和9年度 |
|------|--|----------|-------|--------|-------|-------|
|      |  | 目標       | 上期実績  | 年度末見込み | 目標    | 目標    |
| 取組内容 | 「ひやくまん穀」の産地化<br>異常高温対策および地域特性に合わせた栽培体系による作付面積の拡大   | 作付 250ha | 242ha | 242ha  | 275ha | 300ha |
|      |  | 令和7年度    |       |        | 令和8年度 | 令和9年度 |
|      |  | 目標       | 上期実績  | 年度末見込み | 目標    | 目標    |
| 取組内容 | 新採(中途)職員の確保<br>職員採用に向けて学校等への定期訪問を行い、PRの強化と情報収集に努める | 定期訪問 2回  | 1回    | 2回     | 2回    | 2回    |

### 4. 組合員の意思反映・運営参画

|      |   | 令和7年度   |      |        | 令和8年度  | 令和9年度  |
|------|---|---------|------|--------|--------|--------|
|      |   | 目標      | 上期実績 | 年度末見込み | 目標     | 目標     |
| 取組内容 | 格納点検の計画的実施<br>ニーズが多い農機具の故障軽減に向けた格納点検の計画的な実施                       | 目標台数65台 | 34台  | 67台    | 75台    | 85台    |
|      |   | 令和7年度   |      |        | 令和8年度  | 令和9年度  |
|      |   | 目標      | 上期実績 | 年度末見込み | 目標     | 目標     |
| 取組内容 | 組合員(利用者)への理解促進<br>「安心して利用できるJAづくり」に向けて、組合員(利用者)からのご意見・ご要望の収集を強化する | 1,000件  | 240件 | 500件   | 1,300件 | 1,600件 |

### 5. 地域の活性化

|      |   | 令和7年度              |          |          | 令和8年度    | 令和9年度    |
|------|---|--------------------|----------|----------|----------|----------|
|      |   | 目標                 | 上期実績     | 年度末見込み   | 目標       | 目標       |
| 取組内容 | 農業体験・食育活動・災害予防に備えた農業、地域への支援活動<br>地域防災への注意喚起および啓発活動の実施                                     | 地域貢献活動1回<br>広報活動4回 | 1回<br>2回 | 1回<br>4回 | 1回<br>4回 | 1回<br>4回 |
|      |   | 令和7年度              |          |          | 令和8年度    | 令和9年度    |
|      |   | 目標                 | 上期実績     | 年度末見込み   | 目標       | 目標       |
| 取組内容 | 生活機能の維持・向上のための自立支援型介護サービスの提供<br>資格取得を促進しスタッフのスキルアップを図るほか、地域行事への参加やイベント開催を通じて利用者の自立支援強化を図る | 資格取得2名<br>イベント開催2回 | 1名<br>2回 | 1名<br>2回 | 2名<br>2回 | 2名<br>2回 |
|      |   | 令和7年度              |          |          | 令和8年度    | 令和9年度    |
|      |   | 目標                 | 上期実績     | 年度末見込み   | 目標       | 目標       |
| 取組内容 | 消費者と生産者の連携強化による地域農業への理解促進<br>地元食材を活用した料理教室や、産地見学、体験等のイベント開催                               | 10回                | 30回      | 30回      | 30回      | 30回      |

自己改革に関するお問い合わせ窓口

☎26-3301 (総務部 企画管理課) E-mail : kikaku@hakui.is-ja.jp

# JAはくい NEWS



JAはくい公式LINE  
友だち登録をお願いします

キララはくいの最新  
情報や給油所の限定  
クーポンなどをお届け  
します！



01  
NEWS

JAはくい女性部

## 今浜苑でもちつき大会

JAはくい女性部は2月10日、宝達志水町の今浜苑にて開催された、もちつき



始めてもちつきをする小学生(今浜苑大広間)

大会に参加しました。

当日は押水小学校の1年生と施設利用者が、職員の監督・補助のもともちつきを体験しました。手拍子と掛け声にあわせて杵で餅をつき、女性部員は手際よく餅をかえし、リズムよくもちつきができました。つき終わった餅は温かいうちにちぎり、あんこときなこをまぶして提供されました。

もちつきが終了した後、小学生がお礼の歌を披露し、会場は元気な歌声に包まれました。

02  
NEWS

## JAふれあい産直市キララはくい となりのテレビ金ちゃんで放送



カメラの前でコメントする達店長(キララはくい)

1月27日、「JAふれあい産直市キララはくい」に「テレビ金沢」の取材が入り、同日の「となりのテレビ金ちゃん」にて「教えて！店員さんのマストバイ」コーナーで放送されました。吉道さゆりアナウンサーが進行を務め、達寛幸店長おすすめの商品を多数紹介しました。

地元の食材を中心に紹介し、JAはくい産のおにぎりを試食した吉道アナウンサーは、「米の甘み、香りが感じられておいしい！」と舌鼓を打ちました。達店長は「地元羽咋の商品をたくさんご用意しております。みなさんのお越しをお待ちしております！」と話しました。

03  
NEWS

## JAふれあい産直市キララはくい 農業新聞から取材



取材を受ける達店長(キララはくい)

2月5日、「JAふれあい産直市キララはくい」に農業新聞から取材がありました。達店長は、イチオシの商品紹介で「JAはくいの米」、産直さんの「白ネギ」、「小松菜」を紹介しました。店舗で力を入れている点は「丁寧なコミュニケーション」で、「産直さん、お客さんの両方の需要を叶えたい」と達店長は取材に答えました。

和やかに取材は進行し、達店長は、「これからも親しみやすい店舗として頑張っていきたい」と笑顔をみせました。

もみ殻燻炭施設より直送！  
JAはくい産

もみ殻くん炭  
¥968- (税込み)

経済センター・アグリショップ宝達にて販売開始！

蟹座  
6/22 ~ 7/22

【全体運】頭の痛いことが多いとき。全体的に縮小の方向で考えてみましょう。手を広げないのが取捨のコツ。買い物は早めに

双子座  
5/22 ~ 6/21

【全体運】失敗しても挽回できます。慌てずに対処しましょう。友人は良いアドバイスをくれるので話に耳を傾けて

05 NEWS

邑知小学校の5年生が2月9日、米づくり体験への感謝の会を開きました。指導してくれたアグリスターオナガの濱田栄治さんらを招き、児童が握った塩むずびを味わいました。児童たちは、「お米を食べるまでの苦労が学べた」、「いろんな人が関わっている事が分かった」

05 NEWS

## 邑知小学校5年生 米づくりの実りを味わう

「作ってくれる人の感謝を忘れずに味わいたい」とそれぞれの感想を話しました。5年生32人は昨年、濱田さんの指導のもとで田植えや稲刈りを体験。濱田さんは、「感謝の言葉が作業の励みになる」と話しました。お米は各家庭にも持ち帰り、家族と味わいました。



心を込めて握った塩むずびを味わった(邑知小学校)



## キララはくい 大場久美子さん一時間店長

2月23日、石川県文化観光大使の「大場久美子」さんがキララはくいで一時間店長に就任。JAはくい女性部のメンバーと「めった汁」を来場者にふるまいました。

04 NEWS

## 小中学校給食 伝統野菜くわいか給食に



給食をほおぼる児童たち(邑知小学校)

クワイはホクホクとした触感とほろ苦さが特徴です。クワイが好物の山田椋介さんは、「ポテトみたいな触感がおいしい、家では煮物で食べる」と給食を味わいました。羽咋市産の自然栽培米などと一緒に豊かな地元食材を味わいました。

羽咋市の伝統野菜である「神子原くわい」を使った給食が1月29日、市内の小中学校で提供され、邑知小学校では138人の児童が、地元の味を楽しみました。

当日は、クワイを油で揚げ、豚肉と一緒に甘酢だれを絡めた、「豚肉とくわいの揚げがらめ」がメニューに登場しました。

## たんぽぽ通信



羽咋市デイサービスセンター

### 手作りの鬼たちをみんなで退治!



節分の鬼退治のため、スタッフ力を合わせているんな鬼たちを制作!

### たんぽぽデイサービスセンター ゲームで大盛り上がり



バレンタインデーにちなんで「ハートをねらえゲーム」で大変盛り上がりしました!



節分の日のレクリエーションで鬼退治! みんなで力を合わせて声を掛け合い盛り上がりました。

### たんぽぽデイサービスセンター タオルのご寄付に感謝



宝達志水町女性の会からタオルやティッシュを寄贈いただき、大切にさせていただきます。



ひな壇をかざりました。お雛様を飾ると華やかになりました。

## ひな祭りを華やかに

多機能ホームJAたんぽぽ



貝で作った可愛らしいお雛様です

貝殻もお披露目、貝殻で制作されたとても珍しいお雛様です。

## 「介護職」「看護師」を募集しています

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか!

【お問合せ】福祉ふれあい課  
多機能ホームJAたんぽぽ ☎29-2880

地域とともに、未来をつくる。

令和9年度

# 新規採用職員募集【前期】

【正職員・職種限定正職員】あわせて5名程度



## 応募資格

- 令和9年3月卒業見込み (大学・短大・専門学校)
- 既卒5年以内 (高卒を含む)

## エントリー

『マイナビ2027』より受付  
3/1より募集終了まで

- ▶ 勤務地 羽咋市・宝達志水町内
- ▶ 初任給 大卒 200,000円  
短大・専門卒 193,000円
- ▶ 待遇 賞与年3回/週休2日制  
各種社会保険完備

## 応募期間

<書類応募・WEB適性検査>

3/25(水)～4/8(水)

※マイナビ2027からエントリー後、  
応募書類(履歴書等)を提出してください。

## 選考方法

- 書類選考
- WEB適性検査(能力・性格)
- 面接試験(個別)
- 4/17(金) ※日程調整可能
- 面接実施後、7日以内に通知

## 企業説明会

現地開催 3/27(金) 10:00～11:30  
会場: JAはくい 本店

WEB開催 随時開催中 (Zoom)  
マイナビより日程をご確認ください

エントリーは  
こちら



## お問い合わせ

JAはくい  
総務人事課  
☎ 0767-26-3331

## 春の繁忙期対応のため

経済センター・農機センターの  
**土日営業**を開始します

期間 経済センター: 3月14日(土)～5月31日(日)  
農機センター: 4月18日(土)～5月10日(日)

営業時間 8:15～17:15迄

JAはくい主催

## 健康ふれあい館 開催中です

磁気治療器を体感してみませんか?

場所 JAはくい本店特設会場

時間 10:00～13:00  
15:00～17:30

休館日 土・日・祝日

働きやすい職場環境づくりのために

## 「ビジネスカジュアル」を導入します

【移行期間: 令和8年4月1日～令和9年3月31日】

※期間中は事務服・私服が混在しますが、ご容赦ください。

図1 サトイモの付き方

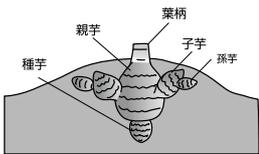


図2 畑の準備

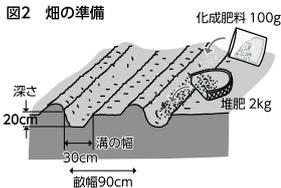


図3 植え付け

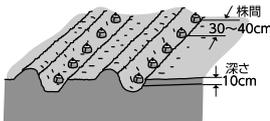
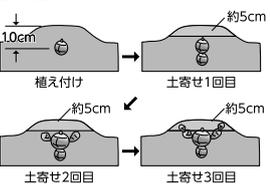


図4 土寄せ



良生育適温は25～30度と高く、低温に弱い。霜で葉がすぐに傷みます。畑の乾燥に極めて弱く、一度しおれると回復が遅く、また芋の肥大中に乾燥すると、芋にひび割れが生じます。畑は耕土が深く、適度に水持ちし、水はけが大切です。

【畑の準備】連作を嫌うため、同じ畑で3、4年は作らないようにします。1平方m当たり苦土石灰100gを早めに全面に散布し、畝幅90cm程度とし、深さ20cmの溝を掘ります。元肥は、溝1m当たり化成肥料(NPK各成分10%)100g、堆肥2kgを施します(図2)。肥料をまいた後、土を5cm程度かけます。

【植え付け】中間地では地温が上がってくる4月中旬ごろから植え付けができます。地上に芽を出すまでに1カ月かかるので、暖かい場所でコンテナに仮植えし、芽出してから菜園に植え込むと良い

※関東南部以西の平たん地を基準とする。

防ぎましょう。

【灌水】野菜の中で最も乾燥に弱いので、真夏の干ばつには毎日たっぷり与えます。時には畝間の両端をせき止めて、水がたまるように灌水できると良いでしょう。また、敷きわらなどで土の乾燥を防ぎましょう。

【追肥・土寄せ】土寄せは芋の肥大に関係し、一度に多くの土寄せをすると子芋の数が少なく、かぎ形の芋になりやすくなります。土寄せが少ないと子芋の肥大が悪くなり、子芋が地上に顔を出し、芋が緑化してしまいます。1回目は5、6葉のときに、株の周りに1株当たり化成肥料10gくらいを追肥し、高さ5cm程度土寄せします。2回目は半月後、さらに3回目はその半月後に同様に追肥し、高さ5cm程度土寄せします(図4)。

## あなたもチャレンジ! 家庭菜園 サトイモ 土寄せと灌水で芋を大きく

あなたもチャレンジ!

家庭菜園

園芸研究家 成松 次郎

蠍座 10/24～11/22

【全体運】自分のための時間を取りにくいときです。優先順位を整理して動きましょう。掃除がおすすめ。不用品は処分して

天秤座 9/23～10/23

【全体運】次第に動きが激しくなっています。気持ちの切り替えが大事。駄目なものは横に置き一点集中で突破を

# まちがい探し

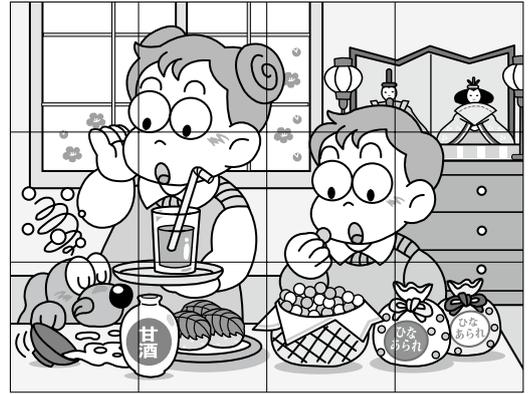
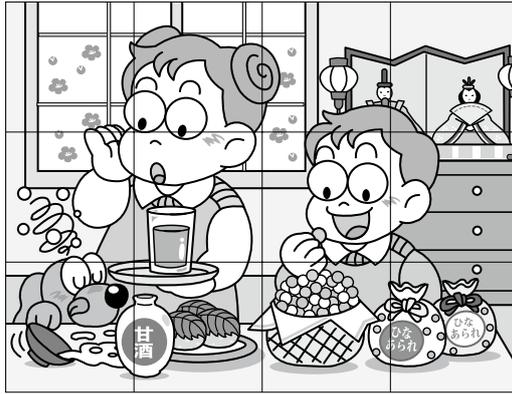
今回の賞品



キララはくいで使える  
商品券1000円分  
(抽選で10名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5カ所あります。  
間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。

見つけて  
スッキリ!



## 先月号(2月号)の答え

- 2... 棚中央の容器の中身が少ない
- 5... 男子の舌が出ている
- 8... はかりの上に計量カップがない
- 9... シロップが垂れている
- 11... カップの模様が違う

## 応募方法

ハガキに ①答え(5カ所の番号) ②住所・氏名・年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な話題などを添えてご応募下さい。

●宛 先/〒925-8588 羽咋市太田町と105 JAはくい本店 広報担当

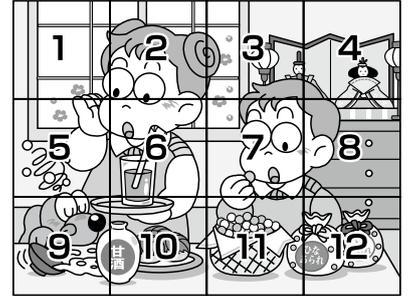
●応募締切/3月31日(火) 当日消印有効

☆郵送または最寄りの支店にご持参ください。

☆QRコードの応募フォームからのご応募いただけます。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。

※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。



2月号のご応募ありがとうございました。(応募41通)

國田 要様 松田 愛那様 川辺美代子様 宇城 広之様 原田千鶴子様  
越智 絹代様 豊田 鈴子様 坂井外美枝様 米谷 保様 中村 登様

## 第10回理事会

2月27日(金)

### < 議案 >

- (1) 宅地等供給事業実施規程の一部変更について
- (2) 人事規程の一部変更について
- (3) 日本政策金融公庫資金の転貸貸付について
- (4) 組合員の出資口数の減口について

### < 報告 >

- (1) 組合員の加入及び脱退について
- (2) 実績報告等(信用・共済部門)について
- (3) 実績報告等(営農部門)について
- (4) 実績報告等(経済部門)について
- (5) 実績報告等(福祉部門)について
- (6) 実績報告等(総務部門)について
- (7) ㈱JAサービス営業報告について
- (8) ㈱JAアグリはくい営業報告について

## 皆さまの声を私たちにお届けください 【理事に関する情報窓口】

当JAの監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(第35条の5)及び農協法施行規則(第81条)に基づき、組合員より理事の職務の適正な遂行阻害する行為(組合経営に関する事象に限る)に関する情報の提供を求めています。

理事の組合経営に関する行動で、気になる点がございましたら、電話または封書にて下記宛てにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

《連絡先》 〒925-8588 羽咋市太田町と105  
JAはくい 監査室  
電話番号：0767-26-3332 (直通)  
受付監事：常勤監事 上野 浩幸 宛

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷またはそれに類似する内容のものは受付いたしかねますので、あらかじめご了承ください。※情報は個人情報保護法及び当JAの規定に基づき、厳重に管理し秘密を厳守いたします。

JAはくい 監事会 中西智彦 上野浩幸 森田克秀  
上月正美 山崎和広 宮島 勝

## やすらぎ会員の皆様へ ダイレクトメールに関する御礼

この度は「お客様情報の確認・更新」に関するダイレクトメールでの会員情報のご確認と、変更に関するご回答を頂き誠に有難うございました。今後もサービス向上等に努めてまいりますので、引き続き宜しくお願いいたします。



JAやすらぎ会館 天照

〒925-0025 石川県羽咋市太田町と115番地



# 厳しい気象条件を乗り越え 新年度へ一歩 各部会の総会ダイジェスト



## 2/9 (月) 押水いちじく部会



JAはくい押水いちじく部会の総会が2月9日に宝達支店で開かれました。部会は35名で構成されており、令和8年度には「榊井ドーフィン」や「ピオレ・ソリエス（黒蜜姫）」などで、販売金額4,788万円を目指します。役員改選で、部会長に内海健太さん、副部会長に高崎進さんが選出されました。

## 2/13 (金) ぶどう部会



JAはくいぶどう部会は2月13日、第23回の総会を営農センターで開催。米沢忠尋部会長は「健康にも十分注意して作業にあたってほしい」と呼びかけました。令和8年度には新規生産者2名が加わり、部会員は29名となります。今後、協議会を設立し、産地計画を通して更なる産地拡大に取り組みます。

## 2/16 (月) 神子原くわい生産組合



神子原くわい生産組合は2月16日、園芸総合集出荷場で通常総会を開催。夏の高温でMサイズが中心となり、10月上旬の枯れ上がり防止と肥大不良の改善が課題です。能登野菜に認定されており、現在は4名が41アールで生産。平久信組合長は、「メンバーは少ないが、協力しながら頑張っていきたい」と話しました。

## 2/17 (火) 押水花木部会



JAはくい押水花木部会は2月17日、宝達支店で通常総会を開催。29名で構成され、今年度の出荷実績は5,522万円です。昨年8月には、「百万石の極み」に能登押水花木として認定され、テレビ局や新聞社の取材がはまりました。稲垣稔博部会長は挨拶で、新たな取り組みとして「百万石の極み」を活用した、産地のPRに意欲を示しました。

## 2/19 (水) 志雄施設園芸生産組合



志雄施設園芸生産組合の総会が2月19日に園芸総合集出荷場で開催されました。今年度の「チンゲンサイ」の出荷実績は4,453万円で、前年比の101%となりました。令和8年度の販売金額は4,800万円を目指します。宮本稔也組合長は挨拶で、「高温対策や栽培管理など、組合で課題解決に向けた意見交換をしていきたい」と述べました。

## 2/24 (火) ナス部会



JAはくいナス部会は2月24日、営農センターで第13回通常総会を開催しました。豪雨、干ばつの影響で栽培管理が難しくなっている中、部会では栽培講習会や現地検討会を計画に盛り込みました。令和8年度は4名が生産に取り組む予定です。安達忠俊部会長は「今年も力を合わせて頑張りたい」と話しました。

## 2/25 (水) スモモ部会



JAはくいスモモ部会は2月25日、宝達支店で総会を開催しました。総会では、肥料の管理・確認を行い、今後も講習会を適宜開催する予定を立てました。松井良久部会長は「市場からは地元食材として非常に期待されている。作る魅力もあり、その期待に応えたい」と話しました。